

5月11日に行った説明会においてご説明した「選考」及び「注意事項」については、主に次のとおり説明しましたので、お知らせします。

1 選考について

- 提出書類（申込書・承諾書・作文）と面接をもとに、派遣員選考委員会が総合的に、派遣内定者を選考・決定します。その後、内定者には申込日より3カ月以内に作成された健康診断書（学校で受けたものでも可）を提出していただき、問題がなければ決定となります。
- 面接は日本語での質問が主ですが、英語での質問もありますので、その場合は英語で返答してください。
- 面接は集団面接です。応募人数によりますが、前回は4～5人を1グループとして行いました。時間は1グループ30分程度を予定しています。面接日の服装は制服でも、私服でも構いません。ただ、面接にふさわしい服装を心がけてください。

2 説明会で出た質問

●市に対して

◎新型コロナウイルス感染症のワクチン接種回数は渡航の際に影響があるか。

⇒過去には3回接種が必要だったが、現在は必要ありません。

（令和5年5月11日より規制緩和）

◎語学力は必要か。

⇒現地で不測の事態が起きたときに、独力でも多少は対応できなければならないので、面接では必要最低限の英語力があるか、また、あきらめずに伝えようとしているかを見ます。

◎海外渡航経験の有無や、学校でホームステイ事業に参加したことがあるかどうか、所沢市内の高校かどうかは選考に影響するか。

⇒影響しません。

●H31年派遣学生に対して

◎ディケイター市では、水道水は飲めるのか。

⇒基本的には購入したミネラルウォーターを飲んでいました。

◎行く前と行く後でリスニング力は伸びたか。

⇒学校で習う英語とは違う本場の英語のため、慣れるのに時間がかかった。慣れてきたころには帰国してしまった。リスニング力が劇的に伸びたというより、コミュニケーション能力が上がった気がする。

◎良かったところを教えてください

⇒公式行事の一つである寄贈図書は、貴重な体験でいい思い出になった。また、ホストファミリーと一緒に折り紙を折ったりして、日本の文化を知ってもらった。

◎現地で日本食を作ったか。何を作ったか。

⇒ごはん・味噌汁・卵焼き・唐揚げなどを作った。ご飯やみそなどは日本から持参し、その他必要な食材は現地のスーパーにホストファミリーと買いに行った。

◎現地で困ったことはあったか。

⇒ホストファミリーごとにスケジュールが微妙に違うため、全員で行う公式行事に一部出られないことがあった。事前にホストファミリーと連絡を取る際に、スケジュールを予め確認しておくとうい。

2 注意事項

●ホストファミリーのマッチングについて

ホストファミリーは、受け入れ先の「ディケイター姉妹都市委員会」が決定します。これまでに、同じ家に派遣学生2名(男女)の宿泊となるケース、一緒に生活する家庭に同年代の異性がいるケースもありましたが、ファミリーを変更することはできません。ご承知おきください。

ただし、何か不都合があって、市として対応が必要な場合は、ディケイター姉妹都市委員会担当者を通じて必要な対応を取ります。

●費用負担について

渡航費(飛行機チケット代、乗り継ぎサービスなど)については、市から12万円の補助金がでますが、その他の費用は自費です。まだ渡航費は確定していませんが、燃油と為替によって大きく変動しますので、今後金額が大きく上昇する可能性があります。なお、成田・羽田空港⇄所沢間のバス費用は行き・帰りとも市が負担します。このほか、現地滞在中の小遣いや自身のお土産代等は別途掛かります。広報に出ていた経費はあくまでも渡航費用になります。

●事業終了後の協力について

帰国後に市の国際交流事業に協力をお願いしております。具体的には3月に行われる国際交流フォーラム出の発表と、次回の学生派遣事業の説明会及び事前研修会への参加です。

以上